

平成29年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場会社名 ローランド ディー.ジー.株式会社
 コード番号 6789 URL <http://www.rolanddg.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 藤岡 秀則
 (氏名) 上井 敏治
 配当支払開始予定日

TEL 053-484-1400
 平成29年9月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第2四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第2四半期	21,411	△6.0	1,369	△48.7	1,361	△42.9	△32	—
28年12月期第2四半期	22,770	—	2,668	—	2,385	—	1,562	—

(注)包括利益 29年12月期第2四半期 △3百万円 (—%) 28年12月期第2四半期 295百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第2四半期	△2.57	—
28年12月期第2四半期	114.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第2四半期	35,545	20,275	57.0	1,619.02
28年12月期	36,341	20,617	56.7	1,647.59

(参考)自己資本 29年12月期第2四半期 20,275百万円 28年12月期 20,617百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	30.00	—	30.00	60.00
29年12月期	—	25.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,300	0.4	3,700	△15.1	3,500	△14.7	1,100	△59.3	87.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期2Q	12,656,311 株	28年12月期	12,656,311 株
② 期末自己株式数	29年12月期2Q	133,295 株	28年12月期	142,595 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期2Q	12,518,116 株	28年12月期2Q	13,664,103 株

(注)平成29年12月期第2四半期及び平成28年12月期の期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式数がそれぞれ133,100株、142,400株含まれております。また、平成29年12月期第2四半期及び平成28年12月期第2四半期の期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式数がそれぞれ138,000株、143,000株含まれております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年1月1日から平成29年6月30日まで)における世界経済は、米国や欧州、日本等の先進国では、総じて緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、中国やブラジル、ロシアをはじめとする新興国経済の成長鈍化、各地における地政学的リスクの高まり、英国の欧州連合(EU)離脱問題、米新政権の政策運営等、さまざまな景気下振れリスクを抱えながら、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループでは、平成28年度を初年度とする5ヶ年の中期経営計画を策定し、前期より取り組みを開始しております。この中期経営計画では、「GrowthOne(グロースワン)イノベーションによる持続的成長」を基本方針に掲げ、①成長分野の事業化の加速、②ソリューションプロバイダへの転身、③イノベーション集団への転身、という3つの重点課題にグループ一体となってチャレンジしていくことで、高付加価値市場を創出し、持続的な成長を目指してまいります。

当第2四半期は、3Dものづくり市場向けの3次元切削加工機やデンタル(歯科医療)市場向け加工機等、当社グループの3D事業を担う「DGSHAPE(ディージーシェイプ)株式会社」が当期の4月に事業運営を開始し、デンタル市場を焦点に3D事業の拡大に向けた活動を強化いたしました。また、プリンターにおいても、これまでの主力市場であるサイン(広告・看板製作)市場に加えオリジナルグッズ等の製作を行うリテイル市場の開拓に注力いたしました。

このように、中期経営計画の重点課題の一つである「成長分野の事業化の加速」を推進すべく積極的な事業活動を行いました。当第2四半期の売上高は、プリンターの販売が大きく減少したこと等により、前年同期比6.0%減の214億11百万円となりました。売上原価率は、販売単価の下落や生産量の減少等により、前年同期に比べ4.1%上昇しました。販売費及び一般管理費は、前年同期を下回りましたが、売上高に対する比率は前年同期に比べ1.2%上昇しました。これらの結果、営業利益は、前年同期比48.7%減の13億69百万円となり、経常利益は、前年同期比42.9%減の13億61百万円となりました。また、米国特許侵害訴訟の和解金を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は、32百万円となりました。

なお、当第2四半期における主要通貨の為替レート(平成29年1月～6月の平均レート)は、112.38円/米ドル(前年同期111.86円)、121.67円/ユーロ(前年同期124.70円)でした。

当社及び連結子会社の事業は、コンピュータ周辺機器の製造販売であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、単一セグメントとなっております。なお、品目別の売上高は、以下の通りであります。

品目別売上高

品目	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
プリンター	9,494	41.7	7,861	36.7	△1,633	△5.0	82.8
プロッタ	699	3.1	679	3.2	△19	0.1	97.2
工作機器	2,172	9.5	2,372	11.1	199	1.6	109.2
サプライ	7,048	31.0	6,849	32.0	△198	1.0	97.2
その他	3,355	14.7	3,648	17.0	292	2.3	108.7
合計	22,770	100.0	21,411	100.0	△1,359	—	94.0

[プリンター]

従来からの主力市場であるサイン(広告・看板製作)市場では、市場が成熟化傾向であることを受け、高付加価値製品や良質なサービス・サポートの提供により、顧客満足度を向上させていくことで市場シェアの維持・拡大を図っております。また、今後の成長分野として、スマートフォンケースや家電製品、ノベルティ等に写真やイラストを印刷してオリジナルグッズ製作を行うリテイル市場等、“新しい印刷市場”の開拓に積極的に取り組んでおります。

当期間は、サイン市場では、市場の成熟化に加えて大手参入による競争環境の激化を背景に、高価格から低価格へ市場ニーズの変化が続いており、高価格帯機種を中心に販売が低迷しました。しかしながら、前期に市場投入した低溶剤系プリンターの新世代モデルTrueVIS(トゥルービズ)シリーズ「VG-640/540及びSG-540/300」の販売は堅調に推移しており、なかでも「SG-540/300」は、当期の5月にドイツで開催された世界最大規模の印刷業界の展示会「FESPA(フェスパ)2017」において、高付加価値な製品・技術に対して贈られる「EDPアワード」を受賞いたしました。

一方、リテイル市場においては、小型UVプリンターの新製品は堅調だったものの、既存モデルの販売減少が影響し、UVプリンター全体の売上が減少しました。なお当期は、小売店舗でのオリジナルグッズ製作用途をリテイルビジネスとして欧州から世界各地域に横展開することに加え、2月には小型UVプリンターLEFシリーズの新製品「LEF-200」を発売する等、積極的なセールス・マーケティング活動を推進しました。

このように、当期間では、サイン市場向けプリンターやリテイル市場向け小型UVプリンターの販売が前年同期を下回った結果、プリンターの売上高は78億61百万円(前年同期比82.8%)となりました。

[プロッタ]

当期の3月から4月にかけてカット精度を向上させた大型カットマシンの新製品「GR-640/540/420」を発売しましたが、既存モデルの販売減少が影響し、売上高は6億79百万円(前年同期比97.2%)となりました。

[工作機器]

3Dものづくり市場では、前期の10月に発売した3次元切削加工機の新製品「MDX-50」が、製造業での試作用途や教育機関等で導入が進み、好調な販売を維持しました。デンタル市場では、当期の3月に発売した、加工する歯科材料を自動で交換するオートディスクチェンジャー機能搭載のデンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が、日本、欧米等の先進国において生産性を求める歯科技工所に受け入れられ、好調に推移しました。

また、当期の4月には、子会社のDGSHAPE株式会社が3Dものづくりやデンタル等の3D事業を新たなブランドでスタートしました。DGSHAPE株式会社では、当社が培ってきたデジタル技術やものづくりのノウハウを活かして、デジタル化の新たな潮流に対応したソリューションの提供を目指しています。製造業や彫刻業、教育機関等の3Dものづくり市場を基盤に、デジタル化の進展が見込めるデンタル市場の成長を加速させると共に、さらにより広い領域で新たな価値提案を行うことで3D事業の拡大を図ってまいります。

このように、当期間では、3次元切削加工機とデンタル加工機の新製品が売上に寄与したことにより、工作機器の売上高は23億72百万円(前年同期比109.2%)となりました。

[サプライ]

UVプリンターやテキスタイル用プリンターのインクが伸長したものの、サイン市場向けプリンターのインクが伸び悩んだことにより、サプライの売上高は68億49百万円(前年同期比97.2%)となりました。

[その他]

保守やサービスパーツ等のその他売上については、主にサービスパーツの売上が増加したことにより、売上高は36億48百万円(前年同期比108.7%)となりました。

地域別の売上高は、以下の通りであります。

地域別売上高

地域	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
日本	2,621	11.5	2,499	11.7	△122	0.2	95.3
北米	6,404	28.1	6,161	28.8	△243	0.7	96.2
欧州	8,046	35.3	7,495	35.0	△551	△0.3	93.1
アジア	2,034	8.9	1,752	8.2	△281	△0.7	86.1
その他	3,662	16.2	3,502	16.3	△160	0.1	95.6
合計	22,770	100.0	21,411	100.0	△1,359	—	94.0

[日 本]

プリンターでは、印刷幅30インチから54インチのUVプリンターがパッケージ試作用途で大きく増加しましたが、サイン市場向けのプリンターが高価格帯機種を中心に減少しました。工作機器では、3次元切削加工機の新製品「MDX-50」が製造業での試作用途や教育機関等で好調に推移しましたが、デンタル加工機DWXシリーズは前年同期を下回りました。

これらの結果、日本の売上高は24億99百万円(前年同期比95.3%)となりました。

[北 米]

工作機器では、デンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が主に中規模クラスの歯科技工所に向けて好調な販売となりました。また、3次元切削加工機の新製品「MDX-50」は、デザイン試作等の用途で好調に推移しました。一方、プリンターでは、テキスタイル用プリンターが好調だったものの、サイン市場向けプリンターの高価格帯機種が前年同期を大きく下回りました。

これらの結果、北米の売上高は61億61百万円(前年同期比96.2%)となりました。

[欧 州]

工作機器では、デンタル加工機の新製品「DWX-52DC」が好調に推移すると共に、3次元切削加工機や金属素材に写真やイラスト、文字等をマーキングできるメタルプリンターが増加しました。一方、プリンターでは、サイン市場向けプリンターや小型UVプリンター等の主力機種が減少しました。

これらの結果、欧州の売上高は74億95百万円(前年同期比93.1%)となりました。

[ア ジ ア]

中国では、プリンターや工作機器等の製品販売は堅調に推移しましたが、サービスパーツの売上が大きく減少しました。韓国では、デンタル加工機が好調だったものの、プリンターが伸び悩み、売上全体が減少しました。インドやASEAN地域では、サイン市場向けプリンターを中心に前年同期に比べ減少しました。

これらの結果、アジアの売上高は17億52百万円(前年同期比86.1%)となりました。

[そ の 他]

オーストラリアでは、小型UVプリンターや3次元切削加工機が好調だったものの、サイン市場向けプリンターやデンタル加工機が減少しました。また、ブラジルをはじめとした中南米地域では、小型UVプリンターやデンタル加工機が大きく増加した一方で、売上構成比の大きいサイン市場向けプリンターが低迷しました。

これらの結果、その他地域の売上高は35億2百万円(前年同期比95.6%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ7億95百万円減少し、355億45百万円(前連結会計年度末比97.8%)となりました。流動資産では、未収入金等のその他が4億48百万円増加し、現金及び預金が11億38百万円減少いたしました。固定資産では、特に大きな変動はありませんでした。

当第2四半期末の負債は、4億53百万円減少し、152億70百万円(前連結会計年度末比97.1%)となりました。流動負債では、支払手形及び買掛金が2億22百万円増加し、固定負債では、長期借入金が返済により7億20百万円減少いたしました。

当第2四半期末の純資産は、3億42百万円減少し、202億75百万円(前連結会計年度末比98.3%)となりました。前連結会計年度末に対し当期の業績等により利益剰余金が4億11百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期連結業績につきましては、平成29年5月9日に公表しました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,003,132	8,864,656
受取手形及び売掛金	4,919,547	4,838,588
商品及び製品	5,900,492	5,903,326
仕掛品	76,976	68,502
原材料及び貯蔵品	2,391,214	2,271,817
繰延税金資産	1,080,446	1,302,102
その他	1,334,151	1,782,766
貸倒引当金	△53,872	△62,016
流動資産合計	25,652,088	24,969,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,928,375	6,961,688
減価償却累計額	△4,054,575	△4,193,173
建物及び構築物 (純額)	2,873,800	2,768,514
機械装置及び運搬具	1,053,186	1,069,526
減価償却累計額	△711,924	△739,466
機械装置及び運搬具 (純額)	341,262	330,060
工具、器具及び備品	3,620,466	3,648,503
減価償却累計額	△2,906,050	△2,883,683
工具、器具及び備品 (純額)	714,416	764,820
土地	3,107,278	3,113,063
建設仮勘定	21,061	37,825
有形固定資産合計	7,057,818	7,014,284
無形固定資産		
のれん	410,076	390,300
ソフトウェア	1,376,535	1,308,129
電話加入権	12,162	12,551
無形固定資産合計	1,798,774	1,710,982
投資その他の資産		
投資有価証券	33,784	24,208
繰延税金資産	789,882	876,769
その他	1,032,222	967,854
貸倒引当金	△23,224	△18,381
投資その他の資産合計	1,832,664	1,850,451
固定資産合計	10,689,258	10,575,717
資産合計	36,341,346	35,545,461

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,923,210	2,145,623
短期借入金	—	82,500
1年内返済予定の長期借入金	1,440,000	1,440,000
未払法人税等	246,996	399,722
賞与引当金	716,485	577,928
役員賞与引当金	80,000	20,000
製品保証引当金	552,306	573,492
その他	3,301,061	3,302,820
流動負債合計	8,260,061	8,542,087
固定負債		
長期借入金	4,680,000	3,960,000
従業員株式給付引当金	91,256	99,377
役員株式給付引当金	223,132	234,883
退職給付に係る負債	960,630	962,154
長期未払金	117,622	115,772
その他	1,391,075	1,356,065
固定負債合計	7,463,716	6,728,253
負債合計	15,723,778	15,270,340
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,668,700	3,668,700
資本剰余金	3,700,608	3,700,608
利益剰余金	14,808,134	14,396,237
自己株式	△623,301	△582,623
株主資本合計	21,554,142	21,182,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	3,143
為替換算調整勘定	△466,234	△486,319
退職給付に係る調整累計額	△473,444	△424,679
その他の包括利益累計額合計	△936,622	△907,855
非支配株主持分	48	53
純資産合計	20,617,567	20,275,121
負債純資産合計	36,341,346	35,545,461

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
売上高	22,770,462	21,411,361
売上原価	11,899,851	12,066,248
売上総利益	10,870,610	9,345,113
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	532,629	465,901
広告宣伝費及び販売促進費	601,834	601,823
貸倒引当金繰入額	—	11,013
製品保証引当金繰入額	122,643	56,825
給料及び賞与	3,767,348	3,825,981
賞与引当金繰入額	348,753	341,134
役員賞与引当金繰入額	40,000	20,000
従業員株式給付引当金繰入額	10,847	7,946
役員株式給付引当金繰入額	36,066	47,480
退職給付費用	164,201	193,683
旅費及び交通費	441,537	334,762
減価償却費	425,603	378,096
支払手数料	626,257	585,968
その他	1,084,490	1,105,085
販売費及び一般管理費合計	8,202,213	7,975,704
営業利益	2,668,396	1,369,409
営業外収益		
受取利息	8,046	9,057
金銭の信託評価益	8,346	31,804
為替差益	—	16,332
その他	31,475	30,192
営業外収益合計	47,868	87,387
営業外費用		
支払利息	23,057	11,038
売上割引	89,723	80,797
為替差損	208,927	—
その他	9,396	3,203
営業外費用合計	331,105	95,039
経常利益	2,385,159	1,361,757

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
特別利益		
固定資産売却益	3,558	6,312
特別利益合計	3,558	6,312
特別損失		
固定資産除売却損	8,413	5,764
和解金	—	1,381,457
特別損失合計	8,413	1,387,222
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,380,303	△19,152
法人税、住民税及び事業税	635,269	343,111
法人税等調整額	182,733	△330,054
法人税等合計	818,003	13,056
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,562,300	△32,209
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	4
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,562,284	△32,213

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,562,300	△32,209
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,836	87
為替換算調整勘定	△1,273,294	△20,083
退職給付に係る調整額	13,497	48,764
その他の包括利益合計	△1,266,633	28,768
四半期包括利益	295,666	△3,440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	295,662	△3,446
非支配株主に係る四半期包括利益	4	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。